

草の根技術協力（支援型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	ベトナム社会主義共和国
2. 案件名	ベトナム国中山間地域における観光プログラムを通じた「なりわい」おこしの広域モデル事業－ATK2 村全域を対象として－
3. 事業の背景と必要性	対象地域は複数の少数民族の暮らす中山間の農村であり貧困率は依然として高い。一方、同地域は ATK と呼ばれる「建国の聖地」の最重要地でもあり、その史跡が点在する。主要な史跡はその中心の旧タンチャオ村に集中し、参拝客が多数訪れるが、観光の恩恵は住民全体には裨益していない。また同村ではリゾート開発も進められているが、地域住民への利益還元とタンチャオ村、ミンタイン村の 2 村間の格差拡大も課題である。提案団体は JICA 草の根事業 (2018-22)をはじめ、地域資源を活かした「なりわい」おこしに取組み、新たな観光プログラムの創出と雇用機会の拡大につなげてきた。一方、より多くの収入創出が期待される滞在型のコミュニティ観光（Community Based Tourism 以下 CBT）プログラムについては、内容面において依然として十分とは言えない。本事業では先行して取り組みを進めてきた旧タンチャオ村が牽引役となり、両村が連携して CBT プログラムを確立するとともに、地域資源を活用したコミュニティ観光（CBT）サービスを継続的に実施していく。
4. プロジェクト目標	ATK2 村の住民が連携して、史跡や村(集落)ごとに住む各民族の文化、自然/人文景観等を含めた地域資源を活かしたコミュニティ観光(CBT)サービスが継続的に実施される
5. 対象地域	タンチャオ村、ミンタイン村
6. 受益者層	幹事会: 10 名、分科会: 婦人会・青年会・集落・各少数民族等の代表者約 75 名、タンチャオ観光開発グループ等、CBT 実施、運営管理に直接関わる住民：約 85 名
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	1. ATK2 村の CBT 実施の事務局(プラットフォーム)が設立される。 2. 旧タンチャオ村の CBT プログラムが確立し、ATK2 村に移転される。 3. ATK2 村を巡る CBT プログラムが確立される。 4. 対象 2 村において CBT に関わって収入を得る住民が増加する。 1-1.事務局(プラットフォーム)の設立、及び、2 村の代表者を中心とした協議会を定期的に開催する。 1-2.事業終了後の継続的な活動を取り決める 1-3.住民自身でツアーを受入れ実施する 2-1.旧タンチャオ村の CBT を先行して企画実施する。 2-2.旧タンチャオ村の CBT の技能をターゲットグループ全体に移転する 3-1.ATK2 村の観光資源情報を発掘し集約する 3-2.住民が CBT に関する知見を獲得する 3-3.各観光コンテンツをつくり込む 3-4.CBT のモニターツアーを PDCA サイクルする 3-5.ATK2 村の CBT マニュアルを作成し人材を研修する 4-1.CBT を広報する 4-2.観光客のマーケティングを実施する
8. 実施期間	2026 年 8 月～2029 年 1 月（2 年 6 カ月）
9. 事業費概算額	9,997 千円
10. 相手国側実施機関	トゥエンクアン省タンチャオ村人民委員会、トゥエンクアン省ミンタイン村人民委員会
II. 団体の概要	
1. 実施団体／指定団体	特定非営利活動法人 AVENUE
2. 主な活動内容	都市/地域計画、建築等の専門家を中心とする市民グループで主としてベトナムにおいて地域計画/地域開発等の支援を行っている。